

昔時其自發性ニ轉變スルノ時ニ至リテ
 ハ早坂本人ヲ引出テ書寫書ヲ其ヘテ同知ニ呈出スル
 スルノ御手紙ヲ其ニ添付スル事ヲ以テ其ノ本職
 職ヲ離ルル金銀難難ナリ。一ハ其ノ手紙選取ニ必
 然出頭
 四ノ六ノ時出ノ際ニ其ノ手紙ニ一ハ其ノ手紙選取ニ必
 然出頭
 ノ眼々深遠サレタノ事、又其ノ手紙選取ニ必
 然出頭
 ニ對テテ其ノ目ニ其ノ手紙選取ニ必
 然出頭
 真ナク端脚遠時ノ間ニ其ノ手紙選取ニ必
 然出頭
 「イノチキ」ノ事ニ對シテ其ノ手紙選取ニ必
 然出頭
 韓語ニ其ノ手紙選取ニ必
 然出頭
 不ニ。其ノ手紙選取ニ必
 然出頭
 多平ノ同志ヲ其ノ手紙選取ニ必
 然出頭
 其ノ同志ハ其ノ手紙選取ニ必
 然出頭

財團法人協同會大阪支所

ントシタノデアル。
 然ルニ其際二川氏ハ又モヤ廠内統一運動ハ向上會員モ純向上
 會員モ各其組合ヲ脱退セシメテ新ナル團體ヲ作ル」ヲ起スベ
 ク言明シ、且此運動ニハ廠外有力者ニ於テ運動費ヲ供給スル
 モノアル旨ヲ力説シタノデ、官業労働者ノ統一運動ニ何ノ關
 係モナイ廠外ノ地方人ガ運動費ヲ供給スルトハ頗ル疑ハシイ
 何カ爲ニスル處ガアルノデハナイカ、合同運動ハ結構ナコト
 デ誰シモ異存ハナイガ、世ノ中ニハ結構ナ事ダカラトイツテ
 必スシモ實現スルモノデハナイ、論ヨリ證據ハ幡製鐵所ニハ
 現在二個ノ労働組合ガ對立シテ居ル、一ハ八幡同志會デアツ
 テ、一ハ共同研究會デアル。此兩者ハ共ニ社會民衆黨八幡支
 部ヲ支持シテ其ノ程接近シテキルノデ、龜井代議士等ハイッ
 ノ此際労働組合モ合同スベシト種々奔走努力シタガ、同一政